

刊夕日四十月八

常磐每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 郵費別 郵便局掛金 郵便物扱い
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六二〇〇



盆踊考

【四】

生

「神のお怒り」と信ずると陰陽寮でこれを占ひ、神官をして神社に祈らしめる以外に此の恐怖より逃れる途は無つたのである。

其恐れるの餘り神に仕事するものをして、神意を或は託宜を神に代り希ひ奉つたり、天地奇蹟の人間の有する質疑に答へ——古代に於て信仰の否要なき中心を占めて居つた神と人間とを介する靈媒の地位に任ずる者の中で、特に女性が多かつた。之即ち巫女である

神前に於て祈禱し、陰陽を占ひ、天地神靈を一堂に集め、神秘の扉を開かんと奉幣する巫女は一種の宗教的精神作用に依る「神懸」と稱する所作を伴ひ、幣を持す兩腕は異様な躍動を見せ、立ちの座りつ廻り歩むのであつて、この動作こそ舞踊の一流流と認むべきも至當であらう。即天之岩屋に於ける「爲神懸而胸乳」を出せし天之細女命の行動こそそれである。

神道の習ひとして清淨を尊び、未婚の女性を巫女に任じ、巫女の純潔を重じた

事は論を俟つまでもなく「幼稚の少女の、いまだ夫婦のわざも知らぬが御膳を供ふる器用にて、召し使はるゝ許りなり。神慮にかなひぬれば三三三までも月事なし。冥鑿に背きぬれば十一二よりさわる。されば乃ち職を辭す」(註一)

【朝】清汁：若芽 小付 さやうぶさ
 【晝】煮浸し 青菜 むきみ 小付 こんぶ辛煮
 【晚】クローヨー(甘酢者) 豚肉切り 玉子煮物：里芋

とあり、巫女自身は勿論のこと、風操を嚴にしたにもかゝらず、中には若い女性のことであり虚榮心を満足せんが爲に純潔たるべき身を自ら持ち崩したるが如き境遇に陥つた者もあつたであらう。

和泉式部が貴布禰の社に願ひごとありて參詣したる折り

年だけたる巫、赤幣たて並べたるめぐりを、さまじく作法して、鼓をうち前をかき上げて、たゞき三返めぐりて、是体にさせ賜へ

と云ふに和泉式部面うち赤らめて

千早振神の見る目も恥しや身を思ふとて身をや捨つべき(註三)

と歎じしめたる程であり、巫女の使命たる神託を人に欺き、或は變態の邪道に導いた者もあつたことは確である。

つたも必然の歸嚮であつて驛里、陸驛を被方此方と徘徊し、賣笑婦と墮し(註四)旅人の枕席に待べると同時に、巫女の「神懸」より

靈授したる舞踊によつて旅装を想つたであつたであらうと想像し得ることも出来るのである。

生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。就ては御禮として毎土曜日を

黒ビールデーとして御奉仕いたします。

平町南町五二

根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

暑中御伺
 時節柄宣傳には……是非！チンドンヤを御利用下さい
 委細は平町仲間町六九

丸屋春日亭米之へ

婦人科
 手術室 完備
 醫學博士 五十嵐雄二
 平町・新川町一
 五十嵐醫院
 電話三六九番

御日焼けの
 御顔の御手當に就て
 海水浴の御日焼け、残暑の御日焼け等は、御顔の「美」を一層傷つけるもので御座いますから、其の際は必ずお手當が必要で御座います。私共の化粧院は御日焼けには獨特のオゾン理容法によるお手當を致しまして皆様が御満足のいく限りの御化粧に努めてをります。

海水浴の御日焼け、或は残暑の御日焼けの御手當には是非水野化粧院迄御立寄下さいませ。
 昭和十一年八月

美容 水野化粧院
 主 水野 冬子
 電話 六七八番
 平町四軒町 水野商店
 電話 五二五番

軍服と紳士服調製
 永年東京陸軍砲工學校の御用を承り居りましたが今回當地出身將校各位の御聲援を賜はり左記へ轉居開業軍服調製に専念致し居りますから何なりと御用命の程御願申上げます
 尙原品は凡て階行社取扱にて軍裝品一般についても御便宜取計ひます
 平町田町五十七番地

菊地洋服店
 店主 菊地 一郎
 電話(呼)二八番

裁縫師、徒弟入用

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五二三番
 外科花柳病科
 内科小兒科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科

村民から歌詞を募り

おらが村禮讚の盆踊

▽村の處女達が描く

▽華麗七夕祭その他

に化す筈である

鹿島の慰靈祭

鹿島村では来る廿三日七夕の當日午後六時から無名戦士者並に無縁佛その他の慰靈祭を同村小学校に於て行

鹿島青年總會

青年團は来る廿三日午後一時より小学校に總會を開き丹治主事補を招へて産業組合に於いての講演を開くが同村信組は廿二日午後七時から組合宣傳映畫會を小学校に開く事になつた

向、豫て村民から郷土色濃厚な盆踊歌詞を懸賞で募集、同夜は小学校に庭に櫓を設備して踊り抜く趣向で他にも假裝踊り等があり村民擧げての賑ひ

幹部協議延期 既報明十五日夜住吉屋本店に開く筈であつた平青年團の幹部協議會は都合に依り十六日に延期された

刑餘者に微笑む

愛と理解の標語

入選者決定發表

既報平自營會が九月十三日全國一齊に行れる司法保護デーの宣傳の爲め一般から懸賞募集した標語は其數四百餘に達し頗る人氣を博したが入選標語は左の如く今十四日發表した

▲一等「愛と理解で明く伸せ」河沼郡野澤町藤原馨照▲二等「理解に勝る

教化なし」草野村下神谷飯島弘▲三等「救へ刑餘者非常時日本」會津東山温泉山崎モヨ「愛護は更正の母」平三丁目三森道「勞はりませう釋放者」岩瀬郡鏡石關根秀雄▲佳作「救へ刑餘者我子の様に」會津東山温泉山崎とよ子「招け導け憎むな愛せ」平

太平洋航行中の船客と話せませす

秩父丸無電報

秩父丸無電報

北米航路を航海する郵船秩父丸

との無線電話一般通話事務は去る八日より開始されたが、仙臺通信局内で、同船の船客と通話の出来るのは仙臺、盛岡、青森、平、郡山、福島、新潟、長岡の計八主要都市であり、秋田、山形の兩市は回線の關係から許可されないこととなつた、各都市からの料金は秩父丸の航行位置が内地港から四百哩沖合までは一通話(三分間)三圓、東緯百度から百十度、北緯零度から六十度、丁度太平洋の真中ころまでの區間は十二圓それから北米までは二十一圓と

種植小路鈴木仁「改心する人我等の仲間」福島市鈴木惣市

乗客激増

平驛ホク

此處數日來ブリ返した天候は日中八十五六度の炎暑が續くので四倉行海水浴客が再び殺倒し初め、十二日平驛の乗車は千八百二十五人十三日は千七百六十八人と増加し旅客収入は一日平均七八百圓に達するので乗客の整理に驛員は汗だくだ

鑛山生活者の榮養改善講習會

榮養改善講習會

縣主催で榮養士を招き先づお神さん連を教育

鑛山生活者の榮養については縣でも特に留意し榮養改善指導に努めてゐる折柄更に鑛山生活者の榮養知識普及啓蒙と、體質の向上を圖るため九月一日より二ヶ月に亘り主要鑛山に榮養講習會を縣が主催となつて開くことになつた、講師には榮養研究所より榮養師を招ぐ筈でその場所は石城郡古河炭礦と石城炭礦の二ヶ所各一ヶ月間、一千戸乃至二千五百戸の鑛山の主婦を講習者とする豫定

籠球講習終了

去る十日から平第二校庭に開催された体協石城支部主催の郡下小學校教員籠球夏季講習は今日十四日限り終了したが連日四十餘名の出席者あり頗る盛會であつた

夏休中の兒童狀況調査

兒童狀況調査

目下夏休み中の平各小學校は兒童に何等變つた事はなしかと明十五日午前七時半一齊に召集夏休み中の出來事や尋ねたり、學習帳を調査したりするが若し病氣或ひは其他の都合で出席出來

中堅青年出發

郡聯合青年團の身心鍛鍊と精神の修養を目的とする中堅青年約百名の講習會は愈々明後十六日から三日間西白河郡矢吹ヶ原修練農場に開催されるが明、五日午前八時半中校庭集合數臺の自動車に分乗一回路場目ざして出發する由

花柳病科 外科 木村外科醫院

平町六丁目目橋際 電話三〇九番

平町人專 回出生

△八幡小路七六影山正三氏 二男文夫さん

電燈、動力、新設増設及改修
ネオンサイン設計及取付
甲種、乙種、電話設備
工業特設電話設備
呼鈴及室内電話設備

専屬電工を置き材料の撰擇と親切をモットーとして工事致します。何卒御引立の程御願ひ申し上げます

通信局 公認 日東商會

平二・電話四二八番

私平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります

主人 比佐棟雄

東京下谷郵便局通角 電話七六七番

前野上京東 電話七六七番

石炭 豆炭

コークス

阿部石炭店

平驛前 電話三十七番

四倉町の時計商に

今曉怪盗忍び入る

犯人は風を喰つて逃走

盗難事件頻々

また怪盗出現——四倉町本町時計商瀨谷友松方に昨十三日夜十一時から十四日午前二時頃迄の間に賊忍び入り店頭にあつた貴金屬箱からクローム腕時計十數個並に指輪(價格百餘圓)を窃取逃走したので今朝になつて家人が発見、届け出に依り四倉署では早速縣下各署に手配したが最近地方には此の種怪盗が出没横行するため嚴重行方を捜査中

犯人平町に現れ

藏品賣込を圖る

平署早くも探知して

白晝街の捕物

て取調中である

(別項)四倉町瀨谷時計店を襲ひ時價百餘圓の腕時計指輪等を窃取した犯人に付四倉署では直に縣下各署に手配捜査中犯人は大膽にも今十五日平町に現れ某時計店に藏品を賣込まんとして失敗した事探知した平署では全市の時計店に手配して犯人の出現を待つ間もなく午前十一時頃一丁目常盤屋時計店へ一人の若者が時計の賣込に來たので直に檢舉したが同人は鳥取縣生當時住所不定原田利得(三)で前記四倉の瀨谷時計店及び湯本町大槻時計店等の犯罪を自白したが他にも餘罪多數あるらしく各地に照會を發し

海底から

鐵を盗む

共謀の三名捕る

小名濱町字中坪馬正次郎(三)同町沖見町志賀倉太郎(五)同三男志賀源藏(三)の三名は去る一月三中重縣廻船大平丸が小名濱港沖合四百米の第一防波堤附近に破損した舵鉋金約八十貫を沈没させて未だ引揚げぬのを知り去月二十六日協力して秘かに潜水引揚これと同町古物商渡邊留次郎外二名へ三回に亘り四十二貫を八十

ラチオ体操

出席優良

既報平郵便局が後援で平第一、第三兩校庭で行つてゐるラチオ体操は例年半年になると學生を除へた一般の出席者が減じて自然學生の

妻の刺青の酌婦

三日目に巧に逃走

湯本町字向田料理店秋本ひつ方抱酌婦千葉縣東葛飾郡松戸町生渡邊とめ(三)は去る十日前借二百八十圓で住込僅か三日後の十三日夜九時頃酒を呑みに行くと出か

瀕死の病床

から捜査願

西白河郡金山村農耕川良三長男才(三)は五年前出稼ぎに三たま音信不通になつてゐるが最近平方面に居る

明日のラチオ
十五日

今晩の部
後六〇〇 童話劇「五郎星」童心座
後六二五 趣味講座 史蹟巡り「金澤城と板屋兵四郎の事」鏑木勢岐
後七三〇 生活改善講座「旅館への注文」田川大吉
後八〇〇 涼みばなし「講談の味ひ方」悟道軒圓玉
後八三〇 寄席中繼：夢若 光晴 松鶴 染丸

明日の部
前六三〇 速成獨語講座 登張信一郎
前七〇〇 朝の修養「ひぐらしのうり」石川謙
前七四一 中等學校復習

の時間「地理」宮川善造
前八一〇 小學生おさらひの時間「算術」香掛斧次郎
前八四〇 孟蘭盆會法要 第二日：智積院中繼京都
前九一〇 全國中等野球甲子園球場中繼
前一〇三〇 家庭講座「子供に起り易い腦の疾患」堀見太郎
後〇〇五 和洋合奏「サロン和洋合奏團」
後三〇〇 一般及中等學校「トート」競演大會「鹽釜灣」ス重陽艇無線中繼
後六〇〇 童謡と唱歌「山形縣東置賜郡沖郷漆山校兒童」
後六二五 趣味講座 史蹟巡り「新田塚平泉寺」等
中谷文作
後七三〇 盆踊大會：仙臺市西公園中繼 瀨島縣
雙葉郡浪江町連中 長野AKOK
後八〇〇 盆踊實況 山形縣加藤幸松他：仙臺市西公園中繼
後八二二 義太夫さばり「紙治内の段」竹本伊達子
「政岡忠義の段」竹本東廣
「寶塚名曲集」寶塚聲樂專科生徒：桃谷中繼
後九〇〇 時事解説「スベインを繞る歐洲政局」町田梓樓
後一〇四五 オリムピツク放送：ドイツ

性懲りのない

窃 常習少年

既報去る七日午後五時頃窃取したビールを喇叭飲しながら新川端を徘徊中平署員に捕らはれた豊間村生れ箱崎幸吉(一)假名は目下平檢事局に送檢され氏家檢事の取調を受けてゐるが同人は現在迄に十數回の窃盜其他の犯罪あり其都度少年故に不起訴處分になつてゐるが改心するどころかこれをよい事にして罪を重ねてゐたもので係官も手を焼いて居り今度こそは起訴される模様である

役員決定

六七丁目青年
平町六、七丁目青年團總會は十三日花地稻荷神社祭典後開き左記役員を決定した
△團長 荒井常信 △副團長 白土武雄 △書記 橋光二 △會計 宇田川平次 △副會計 佐久間源作 △評議員 久野 誠助 金成正一 鈴木保夫 金成秋雅 伊藤吉太郎 吉野運之助

團則制定

主腦會議
平町聯合防護團で十四日午後七時から同町會議室に團則制定その他に關し協議各方團長並に聯合委員が出席する

無錢飲食

湯本町大字水野谷土木井上作太郎(三)は十三日夜同町向田料理店秋本ひつ方で二圓餘の無錢飲食を働へた外二件と同様無錢飲食を行つたこと發覺平署に檢舉された

平自營會

評議員會

平自營會の第一回評議員會は既報の如く明十五日午前十時から平署會議室に開かれるが終つて本縣須賀川町出身滿蒙調査會美術部長古川秋願氏の講演がある由

平職樂紹介所報告

人々を求めの方
△豆腐賣子 三十才 迄給料歩合
△雜夫 廿才迄 給八圓

吉田眼科醫院

平町紺屋町
△出前持 十八才迄 給五圓
◇ 職を求めの方
△店員 十八才 高卒
△女中 十五才 高一修
△職工 十八才 高卒

繞る瓦解の奴

（以上） 悟道軒圓玉（作） 丸尾至陽（書）



一九七 藥禮金十兩
病間に入つて來た高木伊兵衛

伊「良澤先生、土井さんの傷は何うでな」
良「ハイ、みな彈丸傷です。が貫通して彈丸は入つて居らぬから生命は大丈夫」
伊「それを聞いて安心しました、さア先生こつちへ來てください」

と自分の居間につれて行き、こゝで馳走して十兩藥代として渡し、こゝに土井さんのあることは誰にもいつてくださるなとくれぐれも頼んだ、委細心得ましたと良澤は固く誓ひ、菊屋橋の住居にもどらずその足で牢屋係の松本三石といふ醫師のもとに來て、揚がり座敷にゐる青木彌太郎のもとにお花が土井伊織と名乗り居ることを知らせるため振り出しの薬を牢に入れた彌太郎は今病氣で加療中、この振出しの薬は麻の袋の中に手紙を忍ばした、彌太郎は振出し薬の入つて來るに訝しきこと、袋についた糸を切ると中から出た手紙これにお花のことが書いてある、女にしては大膽な奴だ、男装して彰義隊の

入り血を浴びるとは命知らずの無報者、しかしその意氣は感すべきこと、彌太郎もお花の剛膽にはおどろいた、これより以後松本三石の手を介してお花のもとに

ところが良澤は貧乏で裏屋に住んでゐること、服装も甚だよろしくない、それに女房のおかねは上總の九十九里の出生、鬚を引いて紫光線に照り付けられたから皮膚は銅色、髪も赤黒くそれが肥へてゐて年は三十八ですがその威勢のいふこと、良澤が酒に酔つて歸つて來ると家には米を食ふ虫が居るだアよ、この坊主め酔つて來るとは飛んでもねえ奴だと肩にかついで投げつける、長屋の者が飛び込んで來て仲裁をする、し



獄中の生活を知らせて。さて山口良澤は十兩高木伊兵衛より受け取つたが藥代としては莫大、住居は淺草菊屋橋の裏屋ですが、醫者の玄關と申して醫者は住居が貧弱だと患者に安く見られる、また服装もきらびやかにして居らぬと平凡のやうに見える、服装を立派にするは醫師としての政策

かね「何をいふだね、生きてゐる人間だこれ程の力はあるだらう、時に坊さん、お前に聞くことがあるだかの」
良「これ坊さんと呼ぶとは何んだ、貴様には俺は亭主だぞ、先生とか、お前さんとか、あなたとか云へ」
かね「なに亭主だからお前さんだとか先生だとか云へ、亭主らしいことをしたか」
良「理屈をいふな、今に俺も世の中に出ることがある天竺の屈するは伸びんが爲なり」
かね「むづかしいことばかり云はしつて、のう坊さん聞くことがあるんだよ」
良「これおかね、またしても坊主と申すか、一体俺に聞く事とは何んだ」
かね「紙入の中に金が持つてゐるがこれは何處から持つて來さした、貧乏しつてゐるでさもしいことをしなされたか」
良「これ、何を申す、それは療治代及び藥代として病家より受け取つたものだ」
かね「馬鹿云はつせえ十兩と云ふ大金をくれる病家があるなれば貧乏はしてゐねえだ」
良「それは、高木伊兵衛殿のもとにゐる病人を治療いたすにつれて伊兵衛どのから受け取つた金で怪しい金ではないぞ」
かね「さうかね、それで安心したがこの金で酒屋や米屋の拂をするが宜いかね」

良「使う爲の金だ、勝手につかへ」
かね「使つていいか、この坊主も金があると面白い奴だ」
良「よく坊主々々といふがこれから慎め」

店主	が	店員		
を	連れ	て	行	
か	れ			
正	シ	イ	食	堂
正	シ	イ	喫	茶
正	シ	イ	酒	場

平・田町
レストサロ
電話三五二番



鐵道省指定記念
小名濱...湯本間乗合自動車
無料乗車券サービス

海水浴は豊間へ!!

白砂青松 一日の潮干狩
お家族連れも絶対安全
沼ノ内海水浴場 接近。遠淺。磯遊びに好適
薄磯海水浴場
豊間海水浴場
沼ノ内海水浴場

主催 豊間村青年團
後援 野崎自動車部
鈴木自動車部
電話三四三三四〇番
電話二二七番

小瀧へ!!

◆宿泊料 1.50 2.00 2.50
(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
◆日歸浴席料 .20
◆自炊料 .50-.80 [入場料・室料
◆料理一定食 .80 1.00 1.50 [夜具料一切
(その他一品料理洋食)
効 神經痛、リウマチ、胃痛、病
疾 婦人病、逆上、中風、肥胖病
(内務省東京衛生試験所検定済)
◆諸設 備 檯球臺、高級ラヂオ、大廣間
洗式便所、近式浴場、洗面所、水部
御子様運動器具、タクシー
◆名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 瀧の湯
御自炊 瀧の湯
電話 (小名濱) 103番